

今後に向けた地方創生・総合戦略に資する提案について

【取組①】 2025年大阪・関西万博に向けた取り組み

【目的】

2025年大阪・関西万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」をメインテーマとし、共創によるアイデアの創造や先端技術の実証実験・実装に取り組むことでSDGs達成への貢献をめざしています。

万博に参画することで、本市の数ある魅力を国内外に発信し印象づけるとともに、これまで積み上げてきた施策を発展させ社会課題の解決や経済波及効果を得ることを目的とします。

【概要】

参画の目的が達成するよう、機運醸成、大阪府市パビリオンやチームエキスポ等への参画の取り組みを進めます。

【基本目標】

基本目標2「健康づくりのまち」

基本目標6「魅力あふれるまち」



【取組②】 「映画のまち・やお」に向けた取り組み

【目的】

八尾市の魅力を「映画」や「映像」という媒体を介して全国に発信することで、八尾市の自然や歴史遺産、企業力、そして市民力など八尾市の魅力を全国の人々に知ってもらい、そして関心を持ち、さらに実際に八尾市と交流・関係をつくりあげる活動を醸成します。

さらに、全国の人々が八尾市の魅力に注目することで、八尾市民の地域への愛着度が高まり、市民の地域の魅力づくりへの意欲が一層高揚し、まちの活力が更に高まることを目的とします。

【概要】

本市のプロモーションの一環として「映画のまち・やお」づくりに向け、令和3年度に八尾市フィルムコミッションを立ち上げ、本市の映像撮影誘致活動を市民参画により進めるとともに、市民の機運を盛り上げる取り組みを進めます。

令和4年度以降においても引き続き、積極的に映像制作事業者に対する映像撮影の誘致活動を進めるとともに、市民がエキストラ出演や市内の映像撮影候補地に関する情報収集を図ります。また、その他に映像撮影等の実施場所を集めたロケ地マップを新たな観光マップとして作成を進めるなど、市民が身近に映画に触れ、その魅力を感じ取ることで、映画のまちとしての気運を醸成します。

さらに、令和7年度開催予定の「2025年大阪・関西万博」に来られる国内外の人々が八尾市に関心を持ち・立ち寄ってもらうため、これまでの八尾市の魅力を集めた映像等を様々な媒体をとおして発信してまいります。

【基本目標】

基本目標6「魅力あふれるまち」



【取組③】歴史資産を活用したにぎわい創出の取り組み

【目的】

平成30年2月に国史跡に指定された史跡由義寺跡を将来にわたって良好な状態での「保存」と八尾市の貴重な歴史資産として「活用」を図るとともに、八尾市の新たな魅力として、多くの市民が気軽に訪れ、歴史に楽しみながら、史跡の価値を学び、次世代に継承する空間を創造するため、史跡整備を進めます。また、少子高齢化等の社会状況の変化を背景に地域の貴重な文化財を市民・地域・行政と一体となって保存・活用するため、様々な取組みを計画的・継続的に実施します。

【概要】

令和3年3月に策定された「史跡由義寺跡保存活用計画」を踏まえ、史跡整備に関する基本計画の策定を行います。令和5年度から、史跡等の整備に関する実施設計や整備工事、そのほかに遺構復元工事等を進め、令和7年度の完了をめざします。当該事業においては、市民が史跡について学習できるガイダンス施設とこれまでの発掘調査の成果をもとに塔基壇についてわかりやすく説明するための整備を進めます。

また、現在、策定中の「八尾市文化財保存活用地域計画」に基づき、市民・地域・行政など多様な主体が協力・連携して市内の文化財など歴史資産を計画的に保存・活用を図ることで魅力ある地域のまちづくりを進めることとし、観光施策と連携した史跡等のガイダンス施設整備やアクセス・サイン整備、既設文化財関連施設の改修などを年次的に実施します。



(心合寺山古墳)



(史跡由義寺跡)

【基本目標】

基本目標6「魅力あふれるまち」

【取組④】市街地における有効な土地活用など、駅周辺のまちづくりに向けた取り組み

【目的】

市街地において広大な土地が発生した場合、有効に活用し周辺地域も含めたまちづくりに取り組み、まちの活性化につなげることが目的です。

【概要】

今後売却が検討されている大阪メトロ八尾南駅北側にある約9 ha（八尾市域約7 ha、大阪市域約2 ha）の国有地「八尾空港西側跡地」など、市街地で駅にも近いなど好条件で広大な土地が発生した場合において、当該土地の活用のみを考えるのではなく、賑わいの創出など周辺まちづくりに資するよう協議・調整するなど、取り組みを進めます。

【基本目標】

基本目標6「魅力あふれるまち」

